

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年5月8日

【2017年4月29日～2017年5月5日までの推移】

【1】先週の回顧

先週、対円で、レアルは上昇しましたが、対米ドルではレアルは小幅に下落しました。2年国債金利は低下しました。

鉱工業生産などの経済指標は弱含みでしたが、景況感には底打ちの兆しがみられています。経済指標の影響は限定的となりましたが、原油や鉄鉱石が大きく下落したことなどがレアルの上値を抑える材料となりました。

年金を含む社会保障改革についてですが、下院の特別委員会、予定されていた年金改革法案の採決が一時延期されるなどの動きはありました。しかし、翌日には、採決の結果、年金改革法案は承認され、国会の下院本会議で審議されることになりました。

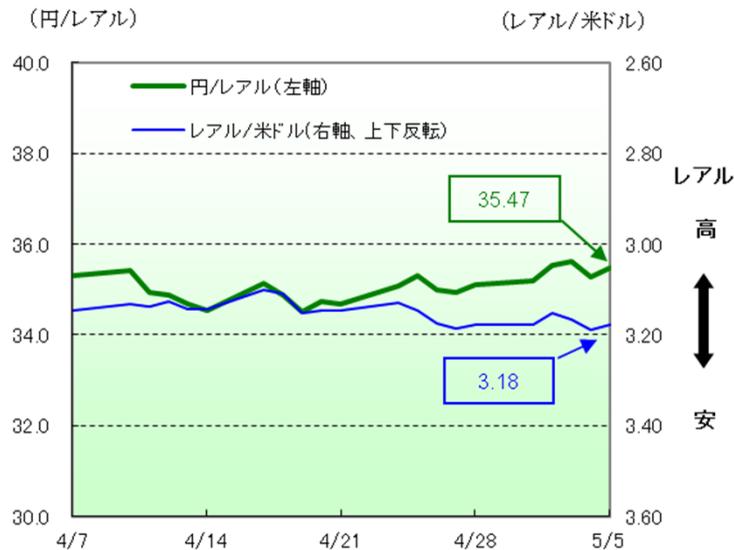
【2】今週の見通し

今週は、インフレ率などの経済指標の発表があります。物価は、既に物価目標範囲内に収束しており、今後一層鈍化する見通しです。市場予想を上回るインフレ率の鈍化がみられる場合は、利下げ観測が高まると想定します。

フランス大統領選挙を終えたことや、地政学リスクへの懸念が足元は和らいでいることを背景に、ブラジル金融市場は堅調に推移することが見込まれます。

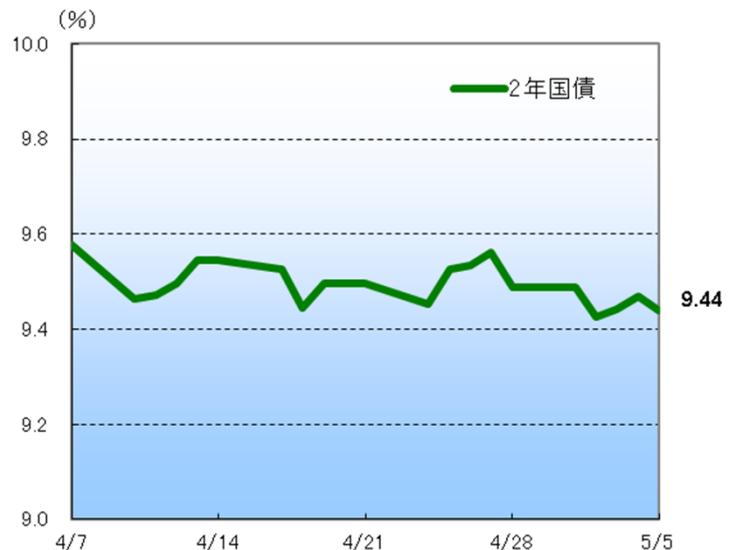
引き続き、年金改革を含む構造改革が注目されます。公的年金支給年齢の引き上げなどの緊縮策には労働組合をはじめ各方面から反発がみえますが、テメル政権が財政健全化を着々と進める場合には、海外投資家の信認改善に寄与するとみられ、構造改革期待を背景としたブラジルへの投資活発化を通じてブラジル・レアルを下支えすることが期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年4月7日～2017年5月5日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年4月7日～2017年5月5日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
 - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
 - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
 - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>